



■ 2016年 年頭挨拶

**世界が不確実な情勢へと進む中、「儲ける仕組み」の
確立が企業の生き残りの至上命題となる。**

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情にあずかり、心より御礼申し上げます。クライアント企業の皆様から強力なご支援をいただき、様々な経営課題に取り組むことができましたことに深く感謝申し上げます。

昨年は多くの企業で過去最高益を記録した日本経済ですが、世界に目を転じてみるとテロの脅威や中国景気の急減速、欧米の同盟関係の弱まりから来る世界安全保障システムの弱体化等、依然として予断を許さない状況が続いております。しかし不確実な情勢が続く一方で、今年には情報技術革命がより一層進展するとともに、様々な企業間の業務提携や協業がグローバルレベルで広がり、新しい飛躍が期待できる年となるとも期待しております。

我々は平素弊社の企業理念である「企業を助け、人を助ける」をモットーにコンサルティング活動に取り組んでおりますが、同時に「この企業の儲ける仕組みは何か」を常に考えております。例を挙げれば、「現在の利益の薄い分野から高成長の見込める分野へ事業領域を移行する」「ニッチ市場に特化してその市場のナンバーワンを目指す」「受注拡大に向けてワンストップサービスを志向する」「受注後に組織総合力でコストを下げる」「従業員のモチベーションを向上させ、マネジメント方法を変革する」等です。

特に中堅・中小企業は自社の独自性を軸に「儲ける仕組み」を確立することではじめて企業の持続的な発展がのぞめます。日本の製造業が縮小する中、いち早く進むべき道を見定め、成長への足がかりを確保していただきたいと思います。

本年も社員一同皆様の様々な課題に応えられるよう、誠心誠意取り組んでまいる所存です。どうぞ変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年1月吉日

株式会社ブイ・マネジメント
代表取締役社長 白石育哉